

2025年7月9日
株式会社ソラコム

IoT データ分析基盤「SORACOM Query」を正式に提供開始

生成 AI による自然言語クエリと外部 BI ツール連携で、
回線管理・IoT データ分析をより簡単に

株式会社ソラコム(本社:東京都港区、代表取締役社長 CEO 玉川憲)は、2023 年から一部のユーザーで先行利用を開始し、フィードバックをうけ、生成 AI の活用などの機能を拡充してきたデータ分析基盤サービス「SORACOM Query(ソラコム クエリ)」を、2025 年 7 月 16 日より正式に提供開始します。



「SORACOM Query」は、SIM の状態や通信量、利用料金といった SORACOM プラットフォーム上に蓄積された通信管理情報、ならびにデータ収集・蓄積サービス「SORACOM Harvest Data」に蓄積された時系列の IoT データを検索・分析できるデータ分析基盤サービスです。リアルタイムデータの可視化、スケーラブルなクエリ実行を使用し、IoT データを安全に収集、保存、および分析します。

今回の正式リリースにあわせて、「Query アシスタント AI」機能を搭載しました。生成 AI により、自然言語から SQL への変換を実現しました。「過去 1 週間で、最も通信量が多かったデバイスをリストアップしてください」、「IoT データの異常値を検出してください」といった自然言語による問い合わせが可能となり、SQL に不慣れなユーザーもサポートします。

「SORACOM Query」の正式提供により、ユーザーは、SORACOM 上に蓄積されたプラットフォームデータに対して、SQL ベースでの自由なデータ照会が可能になります。これまで個別にデータをダウンロードしたり、クラウドに連携して加工・整形していたデータ分析のための作業を、SORACOM 上で直接クエリを実行することで、より効率的に実現できるようになります。SORACOM Query から、SORACOM のダッシュボード作成・共有サービス「SORACOM Lagoon」に連携して閲覧することもできますし、データを外部 BI ツールと連携して可視化するという使い方も可能です。

SORACOM Query の利用用途は大きく 2 つあります。ひとつは、SORACOM 回線を大規模に運用するユーザーが、SIM の利用状況や通信量などの回線マネジメント情報を分析し、運用最適化に活用するケースです。もうひとつは、SORACOM Harvest に蓄積された IoT センサーデータに対して、異常値検出や予兆分析を行う用途です。たとえば、各地に設置された電圧センサーのログから、特定の傾向や異常の兆候を抽出するといったことが、専門知識がなくても可能になります。

また、今回の正式リリースに伴い、SORACOM Query API の提供も開始しており、自社システムとの統合やサードパーティ製 BI ツールとの連携によって、さらに柔軟なデータ活用が可能になります。

SORACOM Query は、Trial プラン(2 ヶ月無料)、月額課金の Business プランをご用意しており、利用規模や用途に応じて最適な選択が可能です。そして、カスタム対応の Enterprise プランでは、データベースへの接続アカウントの提供、複数の SORACOM アカウントを統合したクエリの実行、カスタムレポート提供も可能になります。今後もソラコムでは、お客様のフィードバックを取り入れながら、IoT データの利活用をより身近にする機能強化を進めてまいります。

「IoT の現場では、日々蓄積されるデータにこそ大きな価値がありますが、これまではその分析や活用のハードルが高いと感じていた方も多いのではないのでしょうか。SORACOM Query は、こうした課題を解決し、お客さまが自らのデータにアクセスし、活用できる環境を整えることで、IoT のビジネス的な価値をより引き出す基盤となることを目指しています。生成 AI との連携によって、データ分析は専門家だけのものではなくなりました。私たちは、SORACOM を“つなぐ”だけでなく、“理解し活かす”プラットフォームへと進化させ、あらゆる業界におけるデジタル化と意思決定の質を高める支援を続けてまいります」

株式会社ソラコム 共同創業者 兼 CTO 安川健太

ソラコムは「IoT テクノロジーの民主化」を掲げ、IoT を軸に最新技術をより使いやすく提供することで、多くの活用事例とイノベーションの創出を目指します。

先行ユーザー、パートナーからのエンドースメント

株式会社 MIXI

弊社が提供する「みてねみまもり GPS」において、通信はサービスの根幹を支える重要な要素です。そのため、ネットワークの安定性や異常兆候をいち早く把握することが、ユーザー体験の維持・向上に直結します。

今回、本分析基盤を活用し、SIM 単位の通信状況やトラフィック量、異常傾向などを時系列で可視化・分析する環境を得たことで、従来見えづらかった兆候に対して新たな視点を持てる可能性を感じています。「SORACOM Query」は今後さらに高度化・複雑化していく IoT サービス運用において、大きなアドバンテージになると感じています。

株式会社 MIXI みてね事業本部 本部長 佐藤 僚氏

株式会社 Luup

Luup では、電動マイクロモビリティの安全性と利便性向上を目的として、車両のソフトウェアの改善に取り組んでいます。その一環として、データの取得内容や通信量を事前に検証する PoC を行う機会が多くあります。これまで、複数台の通信状況を確認する際には、コンソール操作や API の活用など、煩雑な作業が発生していました。SORACOM Query の導入により、必要なデータを一括取得、取得条件の柔軟な変更が可能になり、検証業務の効率化が大きく進んでいます。

株式会社 Luup Software 部 高原 健輔氏

旭光電機株式会社

旭光電気は、消費電力と CO2 排出量をリアルタイムに可視化する IoT デバイス「wattXplorer」を提供しています。wattXplorer で得られるデータを有効に活用するには、高度な分析環境が不可欠です。

SORACOM Query は、自然言語で直感的にデータ処理・集計・可視化・予測まで行える革新的なソリューションであり、wattXplorer との連携により、CO₂削減への具体的な取り組みを加速します。当社は SORACOM Query のローンチを歓迎し、パートナーとして企業の環境対応とデータ活用を支援してまいります。

旭光電機株式会社 DXソリューション部長 辻 一郎氏

株式会社 MAGLAB

株式会社 MAGLAB は、SORACOM ソリューションパートナーとして、旭光電気様と共同で IoT デバイス「wattXplorer」の可視化アプリケーションを開発しました。生成 AI を活用した新サービス「39/88 パック」と「SORACOM Query」を組み合わせることで、エネルギーデー

タの高度な分析と自然言語による操作を実現し、開発期間を大幅に短縮しながら、ユーザーにも直感的で使いやすいソリューションとなりました。今後も SORACOM プラットフォームを活用し、IoT 開発の加速を支援してまいります。

株式会社MAGLAB 代表取締役 武市真拓

Sollatek UK Limited

We use Soracom as part of Sollatek's remote monitoring and management solution for commercial refrigeration systems, which has been deployed in over one million units worldwide. With SORACOM Query, we are able to manage the operational status of devices across the globe. This not only improves operational efficiency for our customers, but also supports the continuous, reliable operation of their systems.

Dimitris Flokos, Head of IoT, Sollatek

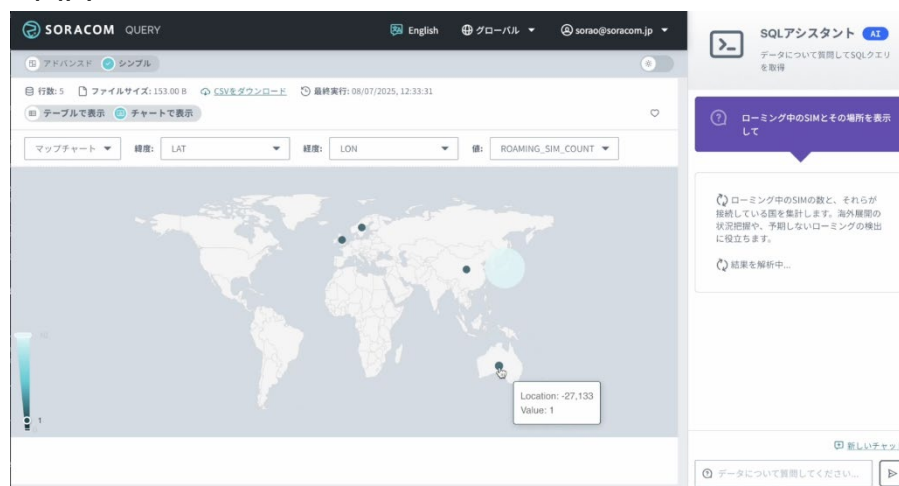
SORACOM Query の正式リリース

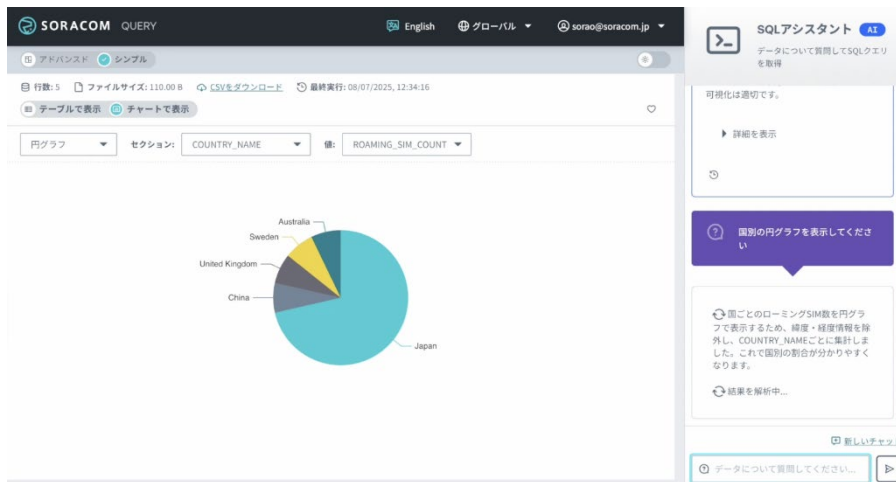
提供開始日

2025年7月16日

[SORACOM Discovery 2025](#) にて正式発表予定

<画面イメージ>





料金プラン

<Trial プラン>

期間とクエリ実行回数が限定されたお試しプラン

利用料金:無料

利用条件:期間はご利用開始月から翌月末まで

<Business プラン>

日常的な利用（データ分析、プラットフォームデータ、IoT データの定期的な確認、SORACOM のサービスとの連携による業務の自動化）

利用料金:Global カバレッジ: 300 USD(税抜)、JP カバレッジ: 49,500 円(税込)

利用条件:クエリ実行回数 2,000 回/月までを含む、それ以上は追加料金設定あり

<Enterprise プラン>

大規模プロジェクトでの回線や IoT データのモニタリング、コネクティビティマネジメント

- データベースへの接続アカウントの提供
- 複数の SORACOM アカウント(オペレーター)を統合したクエリの実行
- カスタムレポートの提供

利用料金:お問い合わせください。

利用方法

サービスの詳細についてはウェブサイトをご覧ください。

ウェブサイト

<https://soracom.jp/services/query/>（2025年7月16日公開予定）

なお、本件が当社業績に与える影響は軽微であると判断しております。

ソラコムについて

IoT プラットフォーム SORACOM は、世界 180 以上の国と地域でつながる IoT 通信を軸に、IoT を活用するために必要となるアプリケーションやデバイスなどをワンストップで提供しています。製造、エネルギー、決済などの産業 DX から、イノベーティブなスタートアップ、農業や防災など持続可能な地域社会を支える取り組みに至るまで、さまざまな業界・規模のお客様にご活用いただいています。

ソラコムコーポレートサイト <https://soracom.com>

SORACOM Discovery について

「SORACOM Discovery」は、IoT の最新事例や活用ノウハウを共有し、業界を越えたネットワーキングと学びの機会を提供する、株式会社ソラコムが主催する年次カンファレンスです。2025 年は、7 月 16 日(水)に東京ミッドタウンで開催します。

例年、多彩なセッションや展示、ネットワーキングを通じて、IoT の新しい価値創出や課題解決のヒントを提供しています。

「SORACOM Discovery 2025」公式サイト: <https://discovery.soracom.jp/>

本ニュースに関するお問い合わせ

株式会社ソラコム 広報 田淵
pr@soracom.jp